



牛のヨーネ病を知っていますか？

牛のヨーネ病は、成牛に慢性の下痢を起こす病気です。有効なワクチンや治療法が無く、放置すると農場全体にまん延してしまうことから、発見した場合は法に基づき処分することが義務付けられています。

しかしながら、消毒の励行等の適切な対応をすればまん延を防止することが可能な病気です。地域一丸となってヨーネ病の発生予防やまん延防止に努めましょう。

1 ヨーネ病はどんな病気？

(1) 感染の特徴

- ・ 病原体は、細菌(ヨーネ菌)
- ・ 感染牛の糞便を介して他の牛へ感染
- ・ 発病まで1年～数年かかる(感染牛を見つけにくい)
→ 気付かないうちに病気が広がります

(2) 主な臨床症状

- ・ 慢性の頑固な水様性下痢で、急激にやせる



2 ヨーネ病と診断された場合は？

- (1) 患畜は、法に基づき殺処分します。国から手当金が支払われます。
- (2) 家畜保健衛生所が関係団体等と協力して、清浄化のお手伝いをします。

3 主な感染ルートは？

- (1) 保菌牛の導入。(他の農場からの菌の持込)。
- (2) 保菌した母牛から生まれた子牛への感染(農場内での感染の拡大)。

4 ヨーネ菌を持ち込まないために！

- (1) 牛舎消毒や踏み込み消毒槽の設置など、衛生管理を徹底しましょう。
- (2) 牛を導入する時は、必要に応じて、ヨーネ病の検査を受けましょう。
- (3) 農場内では専用の長靴・つなぎを着用しましょう。
- (4) 農場への出入りの際には車両のタイヤや下回りを消毒しましょう。

一致団結して大切な牛をヨーネ病から守りましょう！！

※ 詳しくは、最寄りの家畜保健衛生所にお問い合わせ下さい。

岩手県中央家畜保健衛生所 019(688)411

